



かつうらビッグひな祭り (勝浦市にて)

第304号



3月1日発行

SSKR

千葉市身障者福祉会
発行 広報委員会
責任者 飛嶋 信行

「福祉会解散式」開催告知

千葉市身体障害者福祉会は、諸先輩方の努力、頑張りによりこれまで75年もの間活動を継続してこることが出来ました。しかし、会員の高齢化、新規若手の入会数の激減に伴い、会の活動が困難となってしまいました。

この度、非常に残念ではありますが、2026年3月を持ちまして当会を解散することを役員一同検討の上決定させて頂きました。これまで協力して頂いた、会員の皆様、又各行政、自治体の皆様のおかげでここまで運営することが出来本当にありがとうございました。

そこでこれまでの本誌にて掲載させて頂きましたが、以下の内容で解散式をとり行います。

参加については事前に会員の皆様に確認をとっております。当会最後の式典となりますので、参加予定の方は当日まで体調を崩されないようお体に留意して頂き是非参加いただけるようお願いします。

解散式では1部、解散式典。2部、懇親会を予定しております。懇親会ではお楽しみのお催し物、おいしい食事を準備しております。また会員の皆様全員へ記念品も準備しております。

当日は是非皆様お集り頂きひと時をお過ごしいただければと思います。

開催日時：2026年3月22日(日) 10時30分～

開催場所：JFEみやざき倶楽部 ミューズホール

参加会費：無料

福祉バス運行：はまのわ出発：9時

～京成千葉中央駅：9時30分

～JFEみやざき倶楽部：10時

当会として、最後の行事となりますので、
会員の皆様は可能な限りご参加をお願いします。

(広報委員会)

福祉会解散にあたって、理事からの一言

当福祉会も2026年3月をもって閉会のはこびとなりました。そこで、これまで会を支えて頂いた現理事の皆様、千葉市身体障害者福祉会についての思いを綴って頂こうと思いい紙面を割かせてもらいました。それでは、各理事の思いをご覧ください。

福祉会副会長 平本 広志

私は昭和25年、1歳の時に火傷で左手全指を失くしました。

障害者手帳の取得は社会人になってからでした。福祉会に入会したきっかけは平成28年頃に趣味のボウリングで知り合いだった小野理事に誘われ入会しました。その後、福祉会が障害者の社会参加の為に色々な活動をしている事を知りました。高山会長につれられて市内小学校での福祉講話や車椅子体験、障害者の防災訓練、重度障害者慰安旅行、障害者相談員等。色々と勉強しながら参加させて頂きました。

また、ボウリング、卓球、グランドゴルフ、カラオケ等で会員の皆様と交流させて頂き、良い思い出になりました。

福祉会が解散となり非常に残念ではありますが、皆様、ありがとうございます。

福祉会中央区理事 永井 政枝

私が入会して理事になり、初めての会での旅行の時の出来事でした。

旅館に着いて、皆さんと一緒に楽しもうと部屋に行こうとした時、「永井さんちょっと残って」と言われがっかりしたことがありました。

その後、会員の皆様のカラオケ大会景品を購入する為、役員のみなさんと一緒に売店に向かいました。そこでは私たち以上に会長が景品の為に出費して頂き、とても感激する出来事があり、皆楽しい旅行の思い出となりました。

また、ボウリング大会が北海道で行われた時、選手だけではなく、会員も一緒に参加することが出来ました。その時は会長の奥様が私たち全員、宿泊する道中を先導して下さいました。

障害を持った皆様を先導することは大変だったと思います。

今振り返ってみると、それぞれ楽しかった旅行で、良い思い出となりました。

奥様に感謝しております。

福祉会若葉区理事 鳥田 みつえ

平成5年、思わぬ右手切断、同じ障害を持つ人の話を聞きたく区役所に相談に行き、そこで福祉会を知りました。

その勢いで、高山会長との電話で希望を持てる話を聞き、勇気ももらいました。

一番の思い出は全国スポーツ大会、広島大会での出来事です。競技の前に皇太子様、雅子様为数メートル前まで来られ「これからですか、頑張ってください」とお声掛け頂き、それまでつらかったことが吹っ飛んだ気がしました。

茨城から参加された方に雅子様にご握手をお願いしようとしたら「ダメ、SPにつかまるよ」と言われ断念したことが思い出されます。皆さんの力にはなれませんでした。福祉会に私は育てられたことを感謝しています。

役員さん、会員の皆様お世話になりました。またありがとうございます。

皆様、これからもお元気で。

福祉会緑区理事 砂原 時男

福祉会に入会して25年になります。

高山会長に「一緒に楽しもうや」と声掛けを頂いたのがきっかけでした。

入会后、程なくして旅行委員長をまかせられてしまいました。

途中から、残念ながら参加者減少で廃止になってしまった、研修旅行では、観光バス3台で巡り、風呂上がりの食事と「カラオケ大会」が盛況だった一泊二日の旅行が思い出に強く残っています。

また、行先の選定に苦労した「重度慰安日帰り旅行」は昭和28年8月に歩けない会員をリヤカーに乗せ、出洲海岸に行ったことが始まりと聞いています。(直近では福祉バスたいよう号を利用していました)

毎年開催されていましたが、コロナウイルスにより3年間中断を余儀なくされ、記録は69回開催で終わりとなりました。

至らぬ点、多々ありましたが皆様楽しんでいただけたでしょうか。

ご参加頂いた、会員・ご家族や役員・ボランティアの皆様、ご協力ありがとうございました。

また、政令市親善のソフトボール、ボウリング大会に参加させて頂き、素晴らしい交流と体験をさせて頂きました。

「感謝」の言葉しかありません。

色々と有難うございました。

これからも、人生を楽しみましょう。

福祉会緑区理事 宮武 陽子

平成22年、同地区の理事さんに背中を押され福祉会の仲間入りとなりました。

理事、身体障害者結婚相談員の後任を受け、戸惑いの中で、たくさんの方々と出会い、暖かい励ましと、ご協力に支えられたこと、心より感謝申し上げます。

昭和、平成、令和と歩み続けてきた福祉会の長い歴史は沢山の想いがつまった宝物です。

ありがとうございました。

福祉会花見川区理事 石川 栄子

私が福祉会を知ったのは、友達の付き添いで体育祭に行ったことがきっかけでした。

その後、股関節の手術をして障害者手帳の所持者となり、当会の会員になりました。

江野澤さんに声を掛けられ、理事となり各方面で活動をしてきました。

一番の思い出は、江野澤さんと一緒に私の母校へ福祉講話へ行ったことです。

その他の思い出も、あげていくときりがありません。

昨年11月に千葉市社会福祉協議会会長表彰を頂き感謝しております。

福祉会に入ったことで色々勉強にもなりました。会員の皆様方には長い間大変お世話になり、本当にありがとうございました。

閉会の運びとなってしまい、残念ですが今まで学んだ経験が生かせるようにこれからも頑張りたいと思います。

福祉会関連の行事实績と予定

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。当会も解散まであと少しとなってしまいました。それでも解散となる最後まで役員全員で尽力していきますので、会員の皆様も最後までご協力よろしくお願ひします。
 当会の実績と予定についてお知らせいたします。

2月

- 2月 8日(日) 福祉会総務委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・開催済
- 2月15日(日) 福祉会月例理事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・開催済

3月

- 3月14日(土) 福祉会月例理事会・・・・・・・・・・・・・・・・開催済
- 3月22日(日) 福祉会解散会・・・・・・・・・・・・・・・・開催予定

4月

- 4月25日(土) 福祉会月例理事会・・・・・・・・・・・・・・・・開催予定

5月

- 5月16日(土) 福祉会月例理事会・・・・・・・・・・・・・・・・開催予定



(広報委員会)

2017年10月1日
 重度慰安旅行

福祉会活動記録写真

これまでの福祉会の活動記録の写真を掲載いたします。

2018年2月19日
 新年福祉大会



健康吹き矢サークルの紹介と 会員募集

光陰矢の如し・・・・・・。

2年半前に58年間も連れ添った妻が他界し、1人暮らしの87才です。14年前に脳梗塞を発症し、リハビリの末手足は良くなりましたが失語があります。

現在カラオケとスポーツ吹き矢をやっています。吹き矢の用具の値段が高い(一式1~2万5千円以上)ことに鑑み、リハビリとボケ防止をかね、自作することを思いつきました。派生品を活用し試行錯誤を重ね道具一式(約7点)を市価の割程度で何ら遜色なく出来るようになり、チラシを配布しクチコミで募集したところ10人以上の方に賛同を得て、昨年7月より「健康吹き矢」サークルを立ち上げました。

自作の道具により10人以上の方々が、健康、生きがい、ストレス発散等々に楽しんでもらい、我ながら・・・・役に立っています。

以下内容で活動しておりますので、ご興味のある方は是非ご連絡下さい。

- ・開催日時・・・・第2第4土曜日(月2回)
9:30~11:30
- ・開催場所・・・・真砂いきいきセンター
- ・会費・・・・300円
- ・連絡先・・・・043-278-9641
(真砂いきいきセンター)

矢の如くの生きザマを記した次第です。
美浜区在住 高橋勝美

2025年度版障害者福祉のあんない

千葉市より『2025年度版障害者福祉のあんない』が作成、発行されました。

インターネットでは『千葉市 障害者福祉のあんない』と検索頂けると千葉市のホームページより閲覧頂けます。

冊子版を受け取られる方は各区保健福祉センター及び市役所本庁舎の障害者自立支援課窓口で配布されていますので、お手数ではありますが、直接各取り扱い窓口へお願いします。

発行人：特定非営利活動法人
障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷102号

編集人：千葉市身体障害者福祉会
千葉市中央区千葉寺町1208-2
ハーモニープラザ3階

千葉身障に関するご意見、ご要望、
問い合わせは以下をお願いします。

Tel: 043-209-3281
Fax: 043-209-3282

千葉市身体障害者福祉会が発行する本誌「千葉身障」は千葉市のホームページでも閲覧が出来ます。「千葉市身体障害者福祉会」と検索して貰えると直ぐに閲覧出来ます。是非ご利用下さい。



インターネットでも
ご覧になれます

家具転倒防止金具取付費用の一部を助成

千葉市では地震発生時に室内での被害を防ぎ、安全な避難経路を確保する為転倒防止金具の取り付けを取り付け業者に依頼し施工した場合、その費用などの一部を助成しています。

対象者は以下の通りです

- ・65歳以上の高齢者のみの世帯
- ・65歳以上の高齢者及び重度障害者のみの世帯
- ・重度障害者のみの世帯他

助成金

- 1、出張料 5000円を上限
- 2、取付費用 家具1台あたり500円を上限
(5台まで)

詳しくは『千葉市 家具転倒防止金具』と検索し千葉市のHPに記載されていますのでご確認ください。

困ったときは

『福祉まるごとサポートセンター』へ

令和5年10月に『福祉まるごとサポートセンター』が開設されました。

名前の通り、福祉に関するの困りごとについて対応、相談を聞いてくれる場所となっています。

相談者のお話を聞き困りごとを整理し、必要があれば専門機関との連携を行い、サポートしてくれます。

福祉に関するの困りごとがある方は、是非活用してみてください。詳細は以下となります。

場 所：千葉ポートサイドタワー11階
Tel: 043-306-7130
FAX: 043-306-7320
メールアドレス：fukumaru-sc@city.chiba.lg.jp
受付時間：月~土曜日(祝日、年末年始を除く)
/ 8:30~17:30



(総務委員会)

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金について

赤い羽根共同募金について、当福祉会もこちらの助成金の一部を頂き活動させて頂いております。

赤い羽根募金について、皆様にもどのような目的や理由、どのような場所へ利用されているのか、理解して頂き、祖のうえで募金へのご協力を頂ければと思います。

集まった募金は地域福祉活動補助金と呼ばれ助成を受けた施設や団体の活動に利用されています。

掲載されているマークも皆様の身近でよく見ると様々なところで見かけるかと思えます。

ご存じの無い方、知らない方がいらっしやいましたら、是非広めて頂けると幸いです。(広報委員会)

